

社会的發達を児玉の各委員が担当し、全体のサムプリングおよび実施計画を竹田が担当した。また、集計の結果を統計的に処理して、これをテストとして用いられる形にまとめることは村山が担当した。實際の調査にあたっては、日本女子大学、お茶の水女子大学、東京家政大学、東京文化短期大学、学習院大学、実践女子大学、頤栄短期大学等の学生諸姉の協力を得て行い、一部に保育所保母および高等学校教諭の諸姉の協力をあおいだ所もある。資料の集計も、第一次集計はこれらの学生諸姉によって行い、全体をもとめることは主として日本女子大学の学生諸姉をわずらわした。これらの諸姉は献身的にこの大事業に参加して下さったのであって、その努力に對しては厚く感謝したい。

この研究に必要な研究費については、その大部分をフレイベル館および小学館の寄附にあおぎ、一部は昭和出版株式会社および日本保育教材株式会社の厚意によってまかなった。これらの諸社の御厚意に感謝する次第である。

なお、この研究の詳細な報告は、今秋フレイベル館から刑行され、診断用のテストも同社から発売される予定である。

二、全体計画

竹田 俊雄

概要 この調査は予備的には東京都区内二一六歳および三〇〇〇

名の幼児について行われたが、「幼児の教育」第五十三巻第九号、山下俊郎 共同研究報告 参照、本調査は日本全国から一〇〇地区を無作為標本抽出法により選定し、各地区につき三歳児・四歳児・五歳児・六歳児男女各五名、計四〇名を無作為抽出して、総計四〇〇名の幼児について、調査員が家庭訪問を行い、所定の調査票によって、本人と保護者に面接調査を行った。調査の時期は二、三の地区は多少遅れたが、原則として昭和二十九年七月から九月の間であつた。

地区の選定 地区については(A)六大都市、(B)人口二〇万以上の市、(C)一〇万以上の市、(D)一〇万以下の市、(E)町村の五階層とし、昭和二五年国勢調査人口(全国八三二〇万)をもととして

(A)六大都市(一一一九万)

一三地区

(B)二〇万以上の市(四七二万)

六地区

(C)一〇万以上の市(五四二万)

六地区

(D)一〇万以下の市(九八八万)

一一地区

(E)町村(五二〇〇万)

六三地区

とし、(A)については各都市の人口比により地区数を定め、無作為抽出で調査地区を選び、(B)、(C)および(D)については全国を通じてそれぞれ無作為抽出で調査地区を選び、(E)については各都道府県(E)の部分の人口比によって地区数を定め、無作為抽出で調査地区を選んだ。この結果次の一〇〇地区が調査地区として選定された。

(A)東京都中央区、横浜市など一三地区

(B)宮城県仙台市、静岡県静岡市など六地区

(Ⅱ) このページ記入上の注意 (保護者にかいていただきます)

各項目とも できるものは + を
 できないものは - を
 はっきりしないものは ? を } 丸でかこんでください。

	できる	できない	はっきりしない
1 ころばないで走れる	+	-	?
2 絵本のページを一枚ずつめくれる	+	-	?
3 爪先立ちで歩ける	+	-	?
4 三輪車のペダルをふんで動かせる	+	-	?
5 はさみを使って紙が切れる	+	-	?
6 片脚とび(ケンケン)ができる	+	-	?
7 ブランコを立ててこげる	+	-	?
8 しきいの上をまっすぐに両脚をかわりばんこに踏み出して歩ける	+	-	?
9 片眼だけつむれる	+	右眼	左眼
10 ひもを片結びに結べる (たて結びでもよい)	+	-	?
11 紐を花結び(蝶結び)に結べる	+	-	?
12 はしで食べることが出来る (にぎりばしでもよい)	+	-	?
13 ソックス(短いくつ下)をひとりではく	+	-	?
14 小便をひとりのできる (全く手がかからない)	+	-	?
15 服の前のボタンをひとりでかけられる	+	-	?
16 ひとりで手が洗える	+	-	?
17 大便をひとりのできる (全く手がかからない)	+	-	?
18 ひとりで鼻をかめる	+	-	?
19 ひとりで歯ブラシを動かして歯をみがける	+	-	?
20 うがい(ガラガラ)ができる	+	-	?

このページ記入上の注意(Ⅱ)の補充問題

- 21問から26問まで直接やらせてみて観察の結果を記入して下さい。
- かかせるものは調査用紙の余白にかかせて下さい。
- 24問は約1秒間隔で10燃える間立っていらればよい。1度でできない時は2度やらせてみて、1度できればよい。
- 26問は親またはこれに代わる3人に質問して答をかいて下さい。
- ここに得られた答は(Ⅱ)の問題の一ばん下の所へ答だけ書きうつしてください。

	できる	できない	はっきりしない
21 円を書いてみせると真似でかける	+	-	?
22 正方形のお手本をみせるとかける	+	-	?
23 三角形のお手本をみせるとかける	+	-	?
24 片脚立ちができる(10秒以上)	+	右脚	左脚
25 菱形のお手本をみせるとかける	+	-	?
26 左利きですか	はい		いいえ



(Ⅲ) このページ記入上の注意

- (1) 適当な欄に丸をつけてください。
 (2) 「非常に・度々する」「時々する」「まったくしない」のうち「非常に・度々」「時々」は大体お感じになった気持ちでおつけください。

	非常に 度々す る	時々 する	ま く し な い		非常に 度々す る	時々 する	ま く し な い
1				30			
2				31			
3				32			
4				33			
5				34			
6				35			
7				36			
8				37			
9				38			
10				39			
11				40			
12				41			
13				42			
14				43			
15				44			
16				45			
17				46			
18				47			
19				48			
20				49			
21				50			
22				51			
23				52			
24				53			
25				54			
26				55			
27				56			
28				57			
29							

(Ⅳ) このページ記入上の注意

- (1) この調査項目は、子どもどうしの関係と主として大人との関係になっておりますから、つける時にご注意下さい。
- (2) 「非常に・度々」「時々」「まったくしない」のうち「非常に・度々」「時々」は大体お感じになった気持ちでおつけください。
- (3) ※印の項目はおつけにならないでください。

子どもどうしの関係	非常に度々	時々	まったくしない	
1 よその子供と遊ぶ				※38 自分の権利を守ろうとする
2 よその子供にさわったり又は押したりする				※39 ほかに子供と一しょの時に専ら平行遊戯をする(お互が近くにいなが相互間の連絡なしに遊んでいる)
3 よその子供のまねをする				※40 ほかに子供と一しょに力を合せて遊んだり仕事をしたりする
4 よその子供達を誘って新しい遊戯をはじめる				※41 新入の子供を仲間に入れてやろうとする
5 ほかに子供の賛成を求める				※42 新入の子供(幼稚園など)を馬鹿にしたり仲間に入れない
6 ほかに子供の助力を求める				
7 すじがとおればいつでも玩具を手ばなす				
8 自分の番を待っている				主として大人との関係
9 ほかに子供の誤りや、まちがいを指摘する				43 よその大人にすすんで話しかける
10 ほかに子供を援助したり守ってやったりする				44 大人に反抗して自分のいうことをいいはる
11 悲しんでいる子供を慰める				45 大人の賛成を求める
12 ほかに子供の遊んでいるのをじっとみている				46 大人の手伝いを素直にうける
13 ほかに子供のもっているものをひたたく				47 大人の手伝いをすすんでする
14 ごっこ遊びをする				48 自分のしたいことを大人に話してきかせる
15 わがままである				49 大人の動作のまねをする(例えば新聞をよんだり掃除をしたり等のまね)
16 親切である・よく世話をする				50 自分のしたことを大人にみてもらいたがる
17 ほかに子供をからかったりいじめたりする				51 大人の云うことを素直にきく
18 人の上にたとうとする・人をひっぱっていかうとする				52 自分のした事に責任を負う(自分のあやまちをごまかさないうでわびたりそのつぐないをしようとする)
19 母親のように他の子供をかわいがる				53 まかされたことを責任をもつてする
20 よその子供に対し自分のものを一しょに使わせる				54 大人がいてもいなくても決めたことはちゃんとする(学校幼稚園家庭で)
21 ほかに子供に玩具をもって来てやる				55 よその大人をさげろ
22 ほかに子供のことをほめて話す				56 よその大人がいったのはいうことをきかない
23 ほかに子供の言葉をまねていう				57 よその大人にあまえる
24 大人にいいつけずにほかの子供の誤りを訂正してやる				58 年長者が手伝ってくれたり教えてくれるのを待っている
25 ほかに子供からじゃまされた時じゃまをした子におとなしくいう				59 大体大人に手伝ってもらわないで着物をぬいだりしようとする
26 ほかに子供に過ちをしたらおわびをいう				60 御飯をたべさせてもらう
27 よその子供が親しげによってきても顔をそむける				61 ほかのものを押しつけて大人の注意をひこうとする
28 ほかに子供がしている事のじゃまをしたり製作物をこわす				62 自分のしたことをよその大人にかくそうとする
29 面白半分ではほかの子供をふったりつねったりつばきをする				63 大人にあくたいをつく
30 競争心がある(よその子供との間に)				64 ほかに子供のことを大人に告げ口をする
31 嫉妬心がある				65 「わたし」とか「ぼく」とか「自分」とかいう言葉で自分をよぶ
32 自分のものをほかの子供がとろうとすると荒々しくひっぱる				66 自分のことを自分の名前という(例えば太郎ちゃんは)
33 小さい子供とけんかをする				67 出来ない事でも自分がするといつてがんばる
34 友達仲間から馬鹿にされたりものものにされたりする				68 いい着物やいい鞆をはいたりリボンをつけたりする事を喜ぶ
35 男の子だけと遊ぶ(男の場合) 女の子だけと遊ぶ(女の場合)				※69 一人で幼稚園や保育所に行ける(但し近い場合)
※36 遊んでいる子供達の群に加わる				
※37 自分が使っているものや居るところをゆずらない				

(V)

▲調査にあたっての注意

I 調査表には幼児の母親（または母親に代わる適当な人）に会って、直接質問して、得た結果をその場で逐次記入して下さい。

II 質問中に、答をある方へ誘導するような言葉を使わないように、特に注意して下さい。

▲質問にあたっての注意

I 質問文をやさしい会話の口調で読みながら読んで下さい。

II 母親（またはこれに代わる人）に問い返された場合はつぎの要領で指導して下さい。

(1) 1番のかなはひらがなでもかたかなでもよい。3番以下同じ。

(2) 3番の名前は姓だけでも名だけでもよい。4番以下も同じ。

ただし2番だけは姓だけでなく名も言えなければならない。

(3) 9番または10番は5つまたは10という数を記憶しておればよいが、12番は実際に計算出来なければならない。

(4) 18番の歳は満でも数え年でもよい。月までは言えなくてよい。

(5) 36番は何節もある歌は第1節の最後まで歌えればよい。

▲記入にあたっての注意

I できると答えた場合は十を、できないと答えた場合は一を、わからないと答えた場合は？を、○でかこんで下さい。

II 十の記号のすぐ左に括弧のあるものは、少しでもできるものはまず十を○でかこみ、さらに括弧のなかに適当な数値を記入して下さい。ただし21番のみは括弧のなかに幼児が言える内容を記入して下さい。

	できる	できない	わからない		できる	できない	わからない
1 かなが1つは読めますか	+	-	?	22 1円さつをみて「これ何円？」とたずねると何円か分りますか	+	-	?
2 数字がいくつぐらい読めますか ()+	-	-	?	23 10円さつはどうですか	+	-	?
3 かなで書かれた自分の名前が読めますか	+	-	?	24 100円さつはどうですか	+	-	?
4 漢字で書かれた自分の名前が読めますか	+	-	?	25 5円だまはどうですか	+	-	?
5 かなが1つは書けますか	+	-	?	26 10円だまはどうですか	+	-	?
6 数字がいくつぐらい書けますか ()+	-	-	?	27 左と右の区別ができますか	+	-	?
7 かなで自分の名前が書けますか	+	-	?	28 上と下の区別はどうですか	+	-	?
8 漢字で自分の名前が書けますか	+	-	?	29 たてと横の区別はどうですか	+	-	?
9 片方の手に指が何本あるかを見ないで言えますか	+	-	?	30 前とうしろの区別はどうですか	+	-	?
10 両方の手の指はどうですか	+	-	?	31 赤色を見せて何色かときくと、赤色と答えられますか	+	-	?
11 指で物を指しながら数えると、いくつぐらいまで数えられますか ()+	-	-	?	32 黄色はどうですか	+	-	?
12 片方の手の指の数(5つ)を数えられますか	+	-	?	33 紫色はどうですか	+	-	?
13 1つに1つをたしたら、いくつになるか分りますか	+	-	?	34 きのうとあしたの意味が分りますか	+	-	?
14 口が指せますか	+	-	?	35 時計が時間をみるものかどうかを知っていますか	+	-	?
15 耳が指せますか	+	-	?	36 物を買いに行っておつりをもらって来るということが分りますか	+	-	?
16 親指がどれか知っていますか	+	-	?	37 太陽を指して「あれなーに」ときくとお日さまとかお天とうさまなどと答えられますか	+	-	?
17 自分が男か女か知っていますか	+	-	?	38 花の名をいくつぐらい知っていますか ()+	-	-	?
18 自分の歳が言えますか	+	-	?	39 歌が何か一節(いっせつ)は歌えますか) ふしはまちがってもよろしい)	+	-	?
19 自分の名前が言えますか	+	-	?	40 数をいくつまでとばさないで言えますか ()+	-	-	?
20 お父さんかお母さんの名前が言えますか	+	-	?	41 高い所にあるものを何かふみ台を持って来て取ることがありますか	+	-	?
21 住所が言えますか	+	-	?	42 自分のものと他人のものとの区別がはっきりできますか	+	-	?

(C) 埼玉県大宮市、福井県福井市など六地区

(D) 北海道夕張市、群馬県高崎市など一二地区

(E) 北海道上湧別村、富山県生地町など六三地区

(詳細「報告書」参照)

さらに調査はこれらの一〇〇地区の中のそれぞれ無作為に抽出された三地点(市における町、町村における字)について行うこととした。

対象の選定 調査の対象は三歳児―六歳児、各年令性別ごと一地区五名ずつであるが、地区の指定された三地点の住民登録票を閲覧してそれから無作為に抽出された。このようにして一地区四〇名、一〇〇地区四〇〇〇名の幼児(各年令男女各五〇〇名)について調査を行った。

調査の項目 調査については、別紙のような調査票が作成されたが、これは

ページⅠ 基本的項目

ページⅡ 運動的発達に関する項目

ページⅢ 情緒的発達に関する項目

ページⅣ 社会的発達に関する項目

ページⅤ 知的発達に関する項目

ページⅥ 補充 運動的発達に関する項目

を含んでいる。なお調査票はページⅠ―Ⅳが一枚四ページに印刷され、ページⅤ・Ⅵ補充が別紙に印刷されている。

調査員 女子学生を原則とし一地区一名の調査員が担当した。主に協力された学校名をかかげれば左の通りである。

お茶の水女子大学・日本女子大学・東京家政大学・東京文化短期大学・頤栄短期大学その他(詳細「報告書」参照)

調査の方法 まず調査員が選定された対象の家庭を訪問して、幼児の保護者に面接して、調査目的を説明するとともに、調査票Ⅰ―Ⅳの記入を依頼し(場合によっては聴取り調査を行う)日時を定めて再訪し、調査票Ⅰ―Ⅳを回収し、さらに幼児本人についてⅤ・Ⅵの補充について調査し、なお回答の不備について点検補充質問等を行った。不在の場合は再訪し、拒絶の場合にはできるだけ協力を求め、いかにしても調査不能の場合に限り、あらかじめ抽出した予備の対象について面接調査することとした。なお調査に要する日数は一地区平均一〇日の予定とされた。

三、運動的発達

山下俊郎

運動的発達を調査するために設定した項目はさきに掲げた二十六の項目で、これらは従来の研究の結果から、三歳ないし六歳の幼児の発達規準を調査するのに適当であると考えられるものを選定したものである。

調査の結果は、いずれも発達の傾向をきわめて顕著に示すような結果を得た。統計二十六の項目について、当該年令の通過率七〇―